

【横須賀】日本釣振興

0尾は、同支部が全国一

放流に先立ち、県栽培

に20%、3年後には約25

会神奈川県支部と神奈川

斎清掃デー「水辺感謝の日」と銘打つて支援、地

域の振興を目指して活動

ロダイの種苗生産から放流に至った経緯、放流後声を掛けて放流して」と

県栽培漁業協会は9月30日、横須賀市長井町地先にクロダイ種苗を放流し

た。体長7~8寸に育つた稚魚合計1万尾で、こ

のうち1000尾は海岸清掃を行つた親子連れが

海に放した。

種苗は、同協会が5月中旬にふ化させ、水槽で

約2ヶ月まで飼育したあと、三浦市・小網代湾の

イケスに沖出し、配合餌料を与えて育てていた。

同協会の種苗放流事業(5000尾)および同

支部への種苗供給事業(5000尾)および同

(同)として放流された。

このうち9000尾「考える会」が行つた「荒

は、横須賀市長井町の井崎海岸クリーンフェスタ

尻漁港岸壁からホースを

2017年に参加した親子連れらが放流した。

# 種苗放流尾に1万尾 クロダイ地先長井町

日釣振神奈川県支部。  
神奈川県栽培漁業協会



このあと、フェスタに参加した約100人の親子連れは、未来を考える会、日釣振神奈川県支部、栽培協会職員の手渡しリレーで受け取ったバケツに入った稚魚を、3台の放流台を使い放流した。

子供たちがクロダイ稚魚を放流した。